

共和小学校区の幼保小連携 ～園体験～

共和小学校区では、1学期に小学校の授業参観が行われました。7月25日（火）には、小学校の夏休みを利用して、共和小学校の先生が連携園を訪問し、保育参観、保育体験を行う「園体験」が行われました。

ねらい：園の先生方の園児に対する細やかな指導を見たり、園児の様子を参観したり体験することにより、スタートカリキュラムに活かしていく。

～保育参観・保育体験の様子～

【ひかりキッズ】



～小学校の先生も一緒に貨物列車～



～色水遊び 透明な容器に入れて～
混ぜるとどうなるかな？



～1、2…いくつかかな？～

【保育園ちびっこはうす】



～「どうぞ。」「おいしそう。いただきます。」～

【ふちのべ美邦こども園】



～保育参観後に園の先生と小学校の先生が協議 見えなかった工夫や手立てが～



～かたつむりの飼育ケースの隣には
「かたつむり」の歌詞が添えられて～

今後の教育に活かすヒントがたくさんあります！

教育・保育を見直したり、発信したりする機会にもつながりますね。



【共和小学校の先生方からの感想（一部抜粋）】

- ・いすとりゲームのときなど、「いすが5こあって1こかたづけたらなんこ？」と聞いたり、「これとこれ、どっちが長い？」などと、生活の中から子どもが学んだり考えたり、語彙を習得したりできるように言葉がけをしていました。子どもたちは、生活の中で実際に体験・体感しながら数の概念や言葉を習得していくと、楽しく力をつけていけるので参考にできたらと思いました。
- ・先生方の声のかけ方や教室の雰囲気など、大変勉強になりました。子どもたちの小学校を楽しみにしている気持ちが本当によく伝わってきて、こちらも万全な状態で子どもたちを迎えるために日々学んでいかなければならないと改めて感じました。
- ・ブロックやおもちゃの片付けの際、子どもたちが「何かあって逃げるときに、ぶつかったり転んだりしたら危険なんだよ。だから端っこにするんだよ。」と教えてくれました。片付けの大切さはもちろんですが、片付けることでどんな良さがあるのか、自分たちの生活にどう影響するのか、そこまで考えているのか！と感銘を受けました。
- ・自分でやりたい遊びを見つけて、イメージを膨らませながら遊んでいました。また、自分のイメージを友達に伝えて共有することで関わりを広げていました。「これ見て、〇〇くんが作ったんだよ！」と友達の頑張ったことを自分のことのように話し、クラスの友達を認めていることも伝わってきました。